

## 平成 29 年度医療事業部 第 1 回研修会(報告)

主 催 (公社) 熊本県栄養士会 医療事業部

日 時 平成 29 年 4 月 22 日 (土) 10:00~16:15

会 場 名 熊本市医師会館

### ◇1. 講義 『在宅での食支援～訪問栄養食事指導を中心に～part 1』

演者: 一般社団法人日本在宅栄養管理学会九州沖縄ブロック長 水島 美保先生

### ◇2. 講義 『在宅での食支援～訪問栄養食事指導を中心に～part 2』

演者: おがた小児科・内科医院 院長 緒方健一先生

### ◇3. 報告・連絡 平成 28 年度事業報告、平成 29 年度事業計画(案)15:45~16:15

平成 28 年度医療事業部収支決算書報告

平成 29 年度医療事業部予算書

#### < 講義 1(午前の部) >

75 歳以上の高齢者が増えて要介護者が増え続ける状況の中、疾患や認知症があっても可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来る地域包括ケアの推進について講義して頂きました。要介護高齢者は病院から施設、在宅に移り変わっても一連で適切な栄養管理を受けることが大切であること、そのためには圧倒的に少ない在宅訪問管理栄養士の人材育成を図り認定者を増やすことが必要であるということでした。また、訪問栄養食事指導制度や市町村、都道府県の地域特性に応じたシステムづくりでは福岡県糸島市地域ケア会議での取り組みなど具体的事例を交えて教えて頂きました。在宅高齢者の低栄養については、低栄養の要因、フレイル・サルコペニアについて、在宅での現状、管理栄養士の役割についてお話がありました。病院食と同じ食事は在宅では作れない、誰が御飯を作るのか、在宅での調理工程は最低限の工程で指導することが大切であり、食べたら良いのはどんな食べ物なのか具体的な提案が重要と学びました。

#### < 講義 2 >

緒方健一先生には小児在宅医療の現状、震災時対応や日々の活動について講義がありました。熊本県で人工呼吸器を必要としている子供達の在宅ケアについてのお話があり、長期療養を取り巻く環境は様々に変化していること、その中で小児在宅医療が安全で在宅療養者にとってより快適に行われるように支援しておられました。台風や地震被害では電源確保が大変だったことや受け入れ先の病院確保など災害救援にご尽力されていました。熊本地震では、小児在宅児は 1 人の犠牲もなく避難帰宅が完了したとの事でした。また、医療型特定短期入所施設「かぼちゃんクラブ」のご紹介もありました。野外活動など様々な活動を通して、人工呼吸器があっても健常児と同じように家族と一緒に普通の生活を送れることをサポートしておられました。新幹線見学やプール、くまモンステーションなどの多くを体験されていました。また、呼吸リハビリの重要性についてもお話があり多くのことを教えて頂きました。

## ❖報告、連絡

平成 28 年度事業報告及び平成 29 年度事業計画(案)、平成 28 年度医療事業部収支決算書及び平成 29 年度医療事業部予算書についての報告がありました。今回は 113 名の参加がありました。超高齢化社会に伴い、医療や介護の需要はさらに増加すると考えられます。管理栄養士は、専門職としての立場から積極的に参画することが求められていることを痛感しました。長時間にわたり水島先生、緒方先生、お忙しい中本当にありがとうございました。



【小島美保先生】



【緒方健一先生】